

甘粕正彦 あまがま まさひこ 陸軍軍人。明治二十四年一月二十六日宮城縣仙臺生まれ、昭和二十年八月二十日没（八九一一九五）。明治四十五年陸軍士官學校卒。大正十年憲兵大尉。十一二年麹町憲兵分隊長代理時、無政府主義者大杉榮夫妻等殺害の首謀者として逮捕せられ、懲役十年の刑を受けた。昭和二年假出獄。七五滿洲國建國に参劃、民政部警務司長となる。翌年宮内府諮議に任じ、傍ら大東八司を設立經營。十一二年協和會を結成し中央本部總務部長、十四年滿洲映畫協會理事長。終戦直後、新京（長安）で服毒自殺した。

著書 『獄中に於ける予の感想』（昭和二年十月十日廣島）、（宮憲一刊、甘粕氏著作刊行會發賣）。山根博二著『附題 獄中人 甘粕正彦』（大正十三年二月二十日小曲書店）、武藤富男著『滿洲國の断面―甘粕正彦の生涯』（昭和二十一年九月十日近代社）、角田房子著『甘粕大尉』（昭和五十年七月二十五日中央公論社）等がある。

